

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2526

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	安田女子大学	科目開講 キャンパス	安田女子大学			
2. 科目名	正式科目名	現代社会と人間B		クラス名		
	副題	社会・文化－総合芸術から社会を考える		配当年次	1～4年	
	旧科目名					
	学問分野	番号	26	名称	Ⅱ社会科学系 社会科学系の情報	
サテライトで開講される科目の科目群			A群 B群			
3. 担当教員名	平本 哲嗣					
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期			
6. 開講期間 曜日・時間	2018年9月24日（月）～2019年1月21日（月） 月曜日 14：40～16：10					
個別開講日	1回目 9/24	2回目 10/1	3回目 10/15	4回目 10/22	5回目 10/29	6回目 11/5
	7回目 11/12	8回目 11/19	9回目 11/26	10回目 12/3	11回目 12/10	12回目 12/17
	13回目 12/24	14回目 1/7	15回目 1/21	16回目 /	試験日 /	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5人 （人）	9. 定員超過時の 選考方法	書類選考			
10. 科目内容・ 授業計画	<p>映画は、音楽、映像、演劇など様々な要素からなる総合芸術と言われる。映画は純粋に楽しみのために観る場合もあるが、作品自体を分析してみると、その背後にある作り手の意図やメッセージがあらわになる。社会的存在としての我々が映画を観る際には、作品の出すメッセージを理解することが大切になってくる。この授業では、さまざまな社会的テーマに関係の深い作品を取り上げ、「映画からみえる社会」を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 映画における時代性 (1)：原恵一監督の作品</li> <li>3. 映画における時代性 (2)：映画における時代の描かれ方を読み取る</li> <li>4. グローバル化の功罪 (1)：『女工哀歌』について</li> <li>5. グローバル化の功罪 (2)：「グローバル化」から社会を読み取る</li> <li>6. 映画における民族性 (1)：異民族との共存</li> <li>7. 映画における民族性 (2)：多民族社会の行方</li> <li>8. 映画における政治 (1)：国家と個人の関係</li> <li>9. 映画における政治 (2)：戦争と政治（中間レポート提出）</li> <li>10. 映画における政治 (3)：国家は信用できるのか</li> <li>11. 映画における司法 (1)：司法を扱った作品</li> <li>12. 映画における司法 (2)：映画が提起する問題</li> <li>13. 映画における倫理 (1)：「悪」を描いた作品</li> <li>14. 映画における倫理 (2)：なぜ善が成立するのか</li> <li>15. まとめ：映画から得られる気づき</li> </ol>					
11. 試験・評価方法	中間レポートと期末試験を実施する。					
12. 別途負担費用	教科書なし。毎回プリントを配布する。					
13. その他特記事項	男子受入可					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	